

あるかぼーと・唐戸エリアマスタープランデザイン会議

第14回 議事概要

日時	2024年10月21日(月) 14:30~17:00
場所	唐戸市場 2階会議室
参加者(委員)	HBP・KAM 共同事業体：吉田、木村隼、木村大、清原、安本、有賀 専門家：熊谷、榎本、大橋、長町 地域事業者：郷田、阿部、原田、立川 事務局：北島副市長(事務局長) エリアビジョン推進室 内田、田中、平山、村上

1. 脱炭素先行地域の選定について(報告)

下関市環境政策課より資料に基づき説明(報告と確認)

2. 夜間照明演出について

(1) 歴史的建造物の照明演出に関する進捗状況

都市計画課及び業務受託者より資料に基づき説明の上、議論

- 現地での仮検証に関して、連絡が行き届かなかった部分があったため、今後は留意。
- 色彩に関して、機器の特質に応じた微調整が可能な部分もあるので、最終調整の中で反映していく。

(2) 唐戸市場周辺における夜間照明実証の状況について

(3) エリア内におけるあかりのイメージについて

長町委員より資料に基づき説明の上、議論

- マスタープラン及び夜間景観ガイドライン、また実現に向けた仕掛けの柱に沿って実証が継続されていることが改めて確認でき、全体として実施事項の整理が進んだ。この資料をベースに、箇所ごとに、実証ができたもの、整備の道筋がついたもの、まだ着手できていないもの、など一度整理して関係者で意識共有ができると良い。
- エリア内での灯りの演出に関しては、現時点で想定されるもの、過去に演出したいという声が上がったものはできる限り取り込んで計画しておけると良い。後から後から追加になると、整合性が取れなくなるので、先に取り込んで公共照明として実施するにふさわしい事項について、色彩も調整の上で受け止められるようにしておく。
→現時点では一部の内容にとどまっている可能性があるため、市で確認できる範囲で過去の申請・要望等をピックアップしていく

3. 社会実験の報告と今後の予定

吉田委員、木村大委員より資料・模型に基づき説明の上、議論

- 台風でのスタートの中、また、フィナーレについても荒天で実施できなかった部分もあるが、まずは大きな事故等なく無事に運営できた。関係者の協力や調整に感謝。
- ファニチャーも徐々に馴染んでいき、また実施中に高さを調整するなど細やかに対応できていた。
- 海響館・カモンワークとの連携、また、市場関係者にも食材提供等いただきながら実現できた。施設改修等の相談も出てくるなど、徐々にコミュニケーションが深まっている。
- 一方で、並行して様々な企画を実施し、準備や調整に時間を要した結果、当事者に説明するタイミングとして時間的な猶予が十分でない部分もあった。今後改善していくとともに、決まりきった内容でなくても継続して話ができる関係を構築していくことも必要。
- アンケート等はまだ集計前であるため、今後の議論であり、改めて報告。

以上